

ト ン ボ 杯 争 奪
第 17 回 全道ジュニア女子ソフトボール選抜大会 実施要項

- 1.主 催 北海道ソフトボール協会・北海道トンボ株式会社
- 2.主 管 札幌ソフトボール協会
- 3.後 援 (一財)札幌市体育協会・北海道中学校体育連盟
NPO 法人北海道野球協議会・医療法人社団悠仁会羊ヶ丘病院
西宮の沢バッティングパークピッチャーガエシ (予定)
- 4.協 賛 ナガセケンコー株式会社
- 5.会 期 平成 30 年 1 月 9 日 (火) ~ 11 日 (木)
- 6.会 場 つどーむ (札幌市東区栄町 885-1)
- 7.出場チーム数
- ・中学生の部・各地区協会 2 チーム以内 (参加資格参照)
 - ・小学生の部・全道フリー参加 (合同チーム・男女混合チームも可)
- 8.参加資格
- ・中学生の部・中学生 1、2 年生で、各地区協会を通じて北海道ソフトボール協会に加盟登録されたチームの生徒で編成されていること。他の地区協会との合同チームを認める。また、各地区協会 2 チームまでの出場を認める。但し、単一校 2 校の出場は認めない。
 - ・小学生の部・小学生で編成され、各地区協会を通じて北海道ソフトボール協会に加盟登録しているチーム。合同チーム、男女混合チームも可とする。
 - ・主催者の加入する傷害保険に加入すること。
 - ・いずれも各地区協会長が出場を認め、保護者の同意を得た選手であること。
- 9.チーム編成
- ・中学生の部・引率責任者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手 25 名以内とし、原則として単一中学校の出場は認めない。チーム名は各地区協会名を入れることとする。
 - ・小学生の部・引率責任者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手 25 名以内とし、単独チーム、混成チームの如何を問わない。男子の参加を認める。
 - ・出場チームの引率責任者、監督、コーチのうち 1 名は、次のいずれかの指導者資格の有資格者であること。
 - ①公認ソフトボールコーチ・上級コーチ
 - ②公認ソフトボール指導者・上級指導者
 - ③準指導員
- 10.日 程 (予 定)
- 【1月9日(火)】 【1月10日(水)】 【1月11日(木)】
- 11.申し込み方法 別紙申込用紙に必要事項を記入の上、各地区協会長の認め印を受け 11 月 14 日 (火) までに必着するよう、下記の (1)、(2) へ申し込むこと。
- (1) 〒062-0905 札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1-1
北海道立総合体育センター内
北海道ソフトボール協会事務局：参加申込書のコピー 1 通
TEL 011-820-1675 FAX 011-820-1676
- (2) 〒003-0001 札幌市白石区東札幌 1 条 4 丁目 5-1-706
札幌ソフトボール協会 理事長 石原ヒサ子
TEL 011-833-1977 FAX 011-833-1977
- 参加申込書 (原本) 1 通：プログラム掲載用簿 1 通 郵送
参加料および保険料については口座振込 (振り込み手数料はご負担願います)

参加費・保険料振込先 北洋銀行清田区役所前支店
店番号：497 口座番号 普通 3562441
札幌ソフトボール協会 会計 小笠原 美登里（オガサワラ ミドリ）
Tel 011-882-4598

- 12.参加料 1チーム 中学生の部 15,000円
小学生の部 5,000円
- 13.保険料 主催者の加入する傷害保険料
参加人数×60円（参加人数：選手、監督引率責任者、コーチ、スコアラー
など大会申込書に記載された者全てとする）
- 14.競技規則 2017年度オフィシャルソフトボールルールに準ずる。
試合はトーナメント方式を基本とする。また、時間制を採用することもある。
- 15.試合球 中学生の部～試合球はナガセケンコー検定ゴム3号球とし、主催者が提供する。
小学生の部～試合球はナガセケンコー検定ゴム2号球とし、主催者が提供する。
- 16.表彰 本大会では、小学生の部、中学生の部とも、優勝、準優勝、第3位の表彰を行う。
- 17.参加費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 18.宿泊等 宿泊、輸送、弁当等については、各チームにおいて手配してください。
- 19.組み合わせ 平成29年11月21日（火）北海道ソフトボール協会において代理抽選を行う。
- 20.開会式 平成30年1月9日（火） 9:00 つどーむ
- 21.監督会議 平成30年1月9日（火） 8:30 つどーむ
- 22.傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急処置を行うとともに北海道ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険（保険料については参加者負担）の範囲で補償を行う。参加者は全員、健康保険証を持参すること。補償内容：死亡、後遺障害 最高450万円 入院日額4000円（事故日から180日以内、通院日額2500円（事故日から180日以内の通院90日程度）
- 23.その他 ①出場チームは、引率責任者によって引率され、引率責任者は、チームを掌握すること。
②大会運営の詳細については、大会本部で協議して決定する。
③会場の関係で競技場については、正規より狭くし試合を行う。
④スコアラーについては、資格の制限をしない。
⑤競技場の靴については、ポイント底や運動靴とする。
⑥ユニフォームについては、統一されたものの着用が望ましいが、不揃いやジャージなどでもよい。いずれの場合もユニフォームナンバーをつけることとする。
⑦ルール等の申し合わせ事項については、直接、出場チームに連絡する。
⑧練習等で施設の破損が生じたときは、速やかに申し出るとともに、弁償義務が生じる場合があるので、十分注意し本部の指示を厳守すること。
⑨開会式には、登録された監督、プレイヤーが全員参加すること。
9名以上（試合が成立する人数）の参加ができないチームは、原則として棄権とみなします。

競技上の注意

◎競技規則

競技規則は、2017年度オフィシャル・ソフトボールによる。但し、次の事項については、本大会で特に定めるものとする。

- (1) 試合球は、検定ゴム球（中学生3号球、小学生2号球）とし、大会本部で用意する。（ナガセケンコー）使用するバットについてはボールに適應したものを使用し各チームで用意すること。
- (2) コーチャーは、監督・コーチ及び登録選手であること。（登録選手がコーチャーに立つ場合は、ヘルメット着用のこと）
- (3) 外野はすべてフリーとする。
- (4) 試合要領
 - ① 小学生については、60分を超えて新しいイニングに入らない。
 - ② 中学生の予選トーナメントについては、60分を超えて新しいイニングに入らない。
 - ③ 中学生の準決勝・決勝戦は、90分を超えて新しいイニングに入らない。
 - ④ 時間経過後、同点の場合はタイブレーカーとする。タイブレーカーは2回までとし、なお同点の場合は抽選とする。
 - ⑤ トーナメント戦においては、時間内でも、得失点差によるコールドゲームを採用する。（3回15点、4回10点、5回以降7点差以上）

◎試合

1. 選手の集合時間

試合開始予定時刻の30分前または、前試合の4回終了時までが原則ですが、放送での案内をいたしますので、注意してください。

また、試合数が多いので、円滑な試合進行にご協力ください。

2. 打順表の提出と攻守の決定

(1) 試合開始30分前、または前の試合の4回終了時まで、配布された打順表に必要事項を全て記入し、放送の指示により、主将が本部に提出すること。

(2) 攻守の決定は、審判員立会いのもとに「コイン」のトスによって決定する。

(3) 打順表については、あらかじめ各チームに数部配布する。自チームの試合状況を確認し不足が生じる場合は、主将が適宜打順表を本部より受領すること。

(4) 打順表に記載のない選手は、当該試合への出場が出来ないので、提出の際、十分な確認を行うこと。

3. 競技者席（ベンチ）

(1) 組み合わせ番号（チーム番号）の若い方を一塁側とする。

(2) 競技場内に入れるのは、監督1名・コーチ2名・引率責任者1名・スコアラー1名・登録選手とする。（監督・コーチについてはユニフォームナンバーを必ずつけること引率責任者・スコアラーについては適切な服装とする。）

4. フィールドイング

本部の指示に従い、1日目、2日目は自分のチームの1試合目のみ（後攻チームより）3分間、登録選手で行う。ノックは監督、またはコーチが行う。その際、ユニフォームナンバーをつけ男性は着帽する。

5. 競技用具の確認

(1) バットは、試合開始前にバットゲージで確認し、規定以外の物及び危険と判断した物については、試合終了まで審判席で保管する。（試合終了後受け取ること）

(2) ヘルメットは、試合開始前に安全性を確認する。

6. 競技の開始

自己のベンチ前に一列に並び、審判員の『集合』の合図でホームプレートをはさんで整列し挨拶を交わす。監督等ベンチ入りしている者は全員起立し礼をする。

7. その他

(1) 試合中は、マナーを守り、相手チームに不快感を与えるような言動は慎むこと。また、鳴り物入りの応援は禁止する。（保護者等にも徹底してください）

(2) コーチはベンチ入りをして、作戦や技術のアドバイスができる。但し、選手交代の通告、抗議やタイムを行うことはできない。

(3) 試合終了後の相手ベンチへの挨拶は行わない。

(4) 試合前の練習については、別途指示するが、野球場センター後方では、ボールを使った練習は絶対にしないこと。会場施設の破損については速やかに申し出ること。

(5) 装飾品等貴金属は、一切身につけない。

(6) 人工芝のため、スライディングは極力避けること。

(7) 人工芝の張り替えによりクッション性が増しました。ポイント底のシューズ、ゴム底のシューズいずれも適当かと思われますので参考まで。